

第 1 回北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会

日時：平成 20 年 10 月 3 日（金）16:00～17:00

場所：名古屋国際会議場

3 号館 3 階 国際会議室

1. 開会

(事務局：北陸圏広域地方計画推進室 大竹室長)

- ・ 挨拶

2. 挨拶

(北陸圏会長：北陸経済連合会 新木会長)

- ・ 東海北陸自動車道が全通し、両圏域の距離感が非常に縮まった。日本海側から太平洋側にかけて一体感が高まっている。
- ・ 北陸圏、中部圏には独自の背景があり、それぞれ個性が違う。それらを反映した独自性のある地域づくりが必要。それにより、多様な特色をもつ両圏域が交流し、相乗効果によって活力のある国土形成ができるのではないか。

(中部圏会長：愛知県 神田知事)

- ・ 愛知県としての立場から言うと、中部圏知事会議を定期的で開催しているが、中部圏、北陸圏のゾーニングに違和感がある。中部圏、北陸圏は一体である。
- ・ 東海北陸自動車道という画期的な道路インフラができた。北陸圏と中部圏の結びつきが強くなるとともに、一緒に取り組む事業も増えてくる。
- ・ 国土形成計画で両圏域の連携をきちんと位置づけ、知恵を絞り、協力しながらよい案となるようにしたい。

3. 議事

1) 北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会の設置について（報告）

(事務局：北陸圏広域地方計画推進室 市村総括副室長)

- ・ 資料 1 説明

2) 北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会報告書（素案）について

(事務局：中部圏広域地方計画推進室 石原総括副室長)

- ・ 資料 2、資料 3 説明

3) 意見交換

(中部圏会長：愛知県 神田知事)

- ・ 両圏域で連携して取り組むべき課題など幅広い意見や議論をお願いしたい。

(富山県：寺林室長)

- ・ 伏木富山港など日本海側諸港の国際港湾としての機能強化を、広域物流体系構築プロジェクトに記載して頂きたい。
- ・ 広域観光に資する取組として、東海北陸自動車道の4車線化、北アルプスゴールデンルートの整備促進について記載して頂きたい。
- ・ 環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクトにおいて、ツキノワグマの保護管理対策及び森林整備を重要な課題として記載して頂きたい。
- ・ ゲリラ豪雨などの集中豪雨により、流木被害が多発しており、総合的な流木対策や森林保全・整備について記載をお願いしたい。

(石川県：中本次長)

- ・ 北陸圏では、東海北陸自動車道や中部縦貫自動車道などの道路整備や北陸新幹線の整備など、圏域を越える広域的な交通基盤整備が進んでいる。東海北陸自動車道の全線開通により、和倉温泉等では中部地方からの入り込み客数が増加するなど、整備効果が現れている。
- ・ 小松空港では、台湾との定期便が就航し、富山県、福井県とも連携した誘客キャンペーンを実施している。小松空港と中部国際空港を組み合わせることで中部地方の主要観光地を周遊するツアーが主体であるが、さらなる誘客に向けて、これまで以上に魅力あふれる広域観光ルートの構築が重要である。また、開港予定の静岡空港との新規路線が開設されるため、静岡県等とも連携して利用促進を図り相互交流の促進につなげたい。
- ・ このように圏域を越えた高速交通ネットワークの整備により、広域観光、物流や企業間交流などが促進され、地域の活性化につながることから、現在整備中の能越自動車道や中部縦貫自動車道、さらに小松白川連絡道路などのアクセス道路は、両圏域の交流・連携強化に欠かせないものであり、今後の検討に考慮して頂きたい。
- ・ 生物多様性の確保に向けて、金沢市内に設置された国連大学高等研究所と、県内の教育機関等が連携し、里山・里海の利用・保全の取組を推進している。里山、里海を未来に継承していくことは大切な課題であり、中部圏とも積極的に連携していきたいと考えており、今後の検討に考慮して頂きたい。

(福井県：旭副知事)

- ・ 北陸新幹線を敦賀まで整備することにより、はじめて首都・関西・中京の3大都市圏の広域的な環状ネットワークが構築される。時間短縮、東海道新幹線の代替機能など、首都圏、信越、北陸間のアクセス向上だけではなく、中部圏内でも大きな効果が期待される。整備効果が中部各県、周辺に及ぼす影響が大きく、中部圏の将来像の実現に大きく貢献するため、北陸新幹線の敦賀までの延伸を計画に位置付けて頂きたい。
- ・ 中部縦貫自動車道は、国土の東西軸強化につながる真に必要な道路と考えている。また、中部縦貫自動車道の整備により、東海北陸自動車道、北陸道、中央道と共に中部圏と首都圏を結ぶ広域ネットワークが形成され、交流促進、産業発達に大きな効果が期待できる。また、東西交通の代替交通機能や環白山広域観光など広域的な周遊観光

ルート形成に資するため、計画に位置づけることが必要。

- ・ 中部圏、北陸圏が日本のロータリーとして、国内外の交流連携を促進する中心となるためには、どこからでもアクセスできる条件を整備する事が必要。敦賀港は、初めて14mの岸壁整備し、5万トンの船が寄港できるようになった。これらを、中部圏・北陸圏が大いに活用していく形を作っていくのがいい。
- ・ 東アジアとのパートナーシップを強化するためには、経済格差、環境エネルギー問題について、持続的発展に向けて必要な課題を解決し、我が国がアジアの経済発展に貢献するという事が重要。本県では、15基の原発、世界最高水準の研究機関が集積しており、これらを活用して、エネルギー研究開発拠点化計画を作成し、人材育成・新産業育成などに取り組んでいる。東アジアから研究者、技術者が集い、学び交流する交流圏を作っていくことは、アジアに大きく貢献し、北陸・中部両圏域の連携促進に寄与するものであり、計画に位置づけていただきたい。

(長野県：板倉副知事)

- ・ 東海北陸自動車道が開通したことにより北陸圏と中部圏が結びつく中で、長野県はどのような位置づけになるのか、どのような影響がでるのか、しばらく様子を見なければならぬ。
- ・ 長野県が圏域の中で自分の地位を確保するためには、中部縦貫自動車道の整備が重要と考えている。松本から安房峠までの区間は難工事が見込まれるが、中部圏と北陸圏を南北に繋ぐ3本の高速道路を東西に結ぶという意味で中部縦貫自動車道の整備をお願いしたい。こうした道路整備により、大きな広域観光ルートが形成され、スケールの大きな観光を目指すことができる。
- ・ エコロジーは大事なことである、野生鳥獣の被害が深刻となっており、人間と自然が調和して生きていくことが重要であるということを念頭において頂きたい。
- ・ 北陸新幹線の整備により、長野と金沢が1時間で結ばれ、また、東京と金沢が2時間半で結ばれることになる。これが両地域の発展にどう影響するのか、人的な流れがどうなるのかも考えておかなければならない。

(岐阜県：今村課長)

- ・ 北陸圏3県と接し、従来から幅広い分野で活発な交流・連携を行っている。環白山の連携、流域連携、広域的な防災体制の充実など、様々なテーマで連携を深めてきた。
- ・ 東海北陸道は、北陸から愛知、三重、関西まで大きな効果があがった。
- ・ これらの議論を報告書にまとめる場合、北陸・中部それぞれの広域地方計画にどのように反映していくものなのか。

⇒ (事務局：大竹北陸圏広域地方計画推進室長)

- ・ 合同協議会の成果は、それぞれのとりまとめに活かされる。**資料2**に当たる内容が素案として活かされている。
- ・ また、逆にそれぞれの広域地方計画の議論で、合同の報告書に反映させるものがあれば、充実させていきたい。

(中部圏会長：愛知県 神田知事)

- ・ 環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクトの「分水嶺地域」というエリアは、一般的な考え方なのか。

⇒ (事務局：石原総括副室長)

- ・ 分水嶺地域という定義はないが、地図中緑色で示している所を、概ね分水嶺地域としている。これらは、あくまでも一つの取組例にすぎない。

(北陸圏会長：北陸経済連合会 新木会長)

- ・ 経済連合会の会長として発言させて頂く。
- ・ 太平洋側時代から東アジア、極東ロシア時代への転換など、「21世紀の日本がどのようになって行くか」というスタンス・前提を前面に打ち出した方がいいのではないか。
- ・ 富山県が作った逆さ地図のように、向こう側に東アジアが見え、港、空港、鉄道の入った図を用いてはどうか。それにより、そのような地域であるという事が明示される。

(中部圏会長：愛知県 神田知事)

- ・ 要望という事でご検討頂きたい。

(石川県町村会：村会長)

- ・ 旅館に勤務していたが、その際台湾トヨタの客を招致したが、斡旋をしてくれた経営者との交流が非常に重要。信頼関係をいかに築いていくかが重要。
- ・ 中部圏と北陸圏の人と人、企業人と企業人の信頼関係も重要であり、会議の中で対応していく事により、長い関係ができ、充実していくのではないか。

(浜松市：鈴木市長)

- ・ 感想であるが、両圏域の真ん中の部分について、抜け落ちているのではないか。環境面だけでなく、経済的な活動、中山間地域の活性化をどうするかといった視点も重要。

(中部圏会長：愛知県 神田知事)

- ・ 情報提供であるが、日中韓観光大臣会合の中部地域での開催が決定。現在、ルートなどを含め検討中。これを当地域の観光振興に結びつけたいと考えているので、引き続きご協力をお願いしたい。

(福井県市町会：東村会長)

- ・ 住民の感覚では、具体的なハード事業、ソフト事業との連携のあり方を明確にしなければ、この計画の位置づけが湧かない。
- ・ 今後は、計画の中で、具体的なものに触れながらまとめて頂きたい。

(中部圏会長：愛知県 神田知事)

- ・ 今後は、計画づくりの中で具体化・明確化が必要。今後も、個別の要望については、ご意見を頂きたい。

- ・ 本日頂いたご意見、これまでに事務局に頂いているご意見は、今後の計画原案づくりに向け、幹事会などで議論し、対応していきたい。事務局にはよろしくお願ひしたい。

4) その他

- ・ 特になし

4. 閉会

(事務局：北陸整備局 吉野局長)

- ・ 両圏域の連携が生み出す「世界に開かれた中枢圏域」、「魅力あふれる圏域」の実現に向けて、頑張っていきたい。

以上